

## 薬剤師臨床研修の受け入れ体制等に関する実態調査内容

### I. 施設概要

1. 施設名 :
2. 医療機関コード :
3. 回答者名 :
4. メールアドレス
5. 都道府県
6. 許可病床数 : [ ] 床
7. 薬剤師数（常勤換算）: [ ] 名

### II. 薬剤師臨床研修の実施可能性とキャパシティについて

Q1. 在宅等の地域連携項目を除き、薬剤師臨床研修ガイドラインを満たす研修を「自施設のみ」で実施可能（または可能になる見込み）ですか？

1. はい（自施設で完結可能） → 【Q2-A】へ
2. いいえ（一部項目を他施設で補う必要がある） → 【Q2-B】へ

Q2-A.（自施設完結の場合）実際に研修を実施中、または令和9年度までに体制構築が可能ですか？

1. はい（実施中・構築可能） → 【Q3：人数回答】へ
2. いいえ（構築困難） → 【III. 課題】へ

Q2-B.（自施設のみでは不可の場合）他施設（代表病院またはパートナー病院）で不足項目を補う形であれば、研修の実施が可能ですか？

1. はい（連携すれば実施可能） → 次の【Q2-C】へ
2. いいえ（連携しても実施困難） → 【III. 課題】へ

Q2-C.（連携なら可能な場合）実際に研修を実施中、または令和9年度までに体制構築が可能ですか？

1. はい（実施中・構築可能） → 【Q3：人数回答】へ
2. いいえ（構築困難） → 【III. 課題】へ

Q3. 令和9年度の研修受け入れ可能人数の見通しをご記入ください。

\*Q2-A または Q2-C で「YES」と回答した施設のみ。

自施設で雇用予定の新人薬剤師数と、他施設からの受け入れ予定人数の合計をご記載ください。不明な場合は、令和8年度の最大受け入れ人数をご記入ください。

※人数の算出にあたっては、下記ガイドラインの指導体制等の基準をご参照ください。

貴院で指導・受け入れが可能な研修生の合計人数： [ ] 名

### III. ガイドラインへの対応と体制拡充に向けた課題

Q4. 「薬剤師臨床研修ガイドライン」の充足状況について教えてください。

1. 全ての項目を満たしている（在宅研修等を含む）
2. 一部未整備の項目がある（例：在宅研修ができない等）
3. 大幅な見直し・整備が必要である

Q5. 研修生の受け入れを「開始する」あるいは「人数を増やす」にあたって、障壁となっている要因は何ですか（複数回答可）。

- [ ] 薬剤師全体の不足（日々の業務・採用の困難さ）
- [ ] 指導薬剤師のマンパワー不足
- [ ] 指導薬剤師の教育負担に対する経済的支援の欠如
- [ ] 研修プログラム（在宅、地域連携等）の調整が困難
- [ ] 施設・設備（学習スペース、ICT端末等）の不足
- [ ] 卒後臨床研修の必要性やメリットが十分に感じられない
- [ ] 新人薬剤師が入職しない
- [ ] その他（  
                        ）

### V. 自由記載

Q6. 薬剤師臨床研修の実施にあたり、現場での懸念点や日病薬への要望がございましたらご自由にご記入ください。